

令和4年7月26日

交通事故概況

令和4年6月中計上数(確定数)

警察本部交通部交通企画課

北海道の交通事故概況（6月中計上数（確定数））

1 令和4年6月中の交通事故発生状況

区分\内容	6月中		6月末	
		前年比		前年比
発生件数（件）	661	75	4,063	205
死者数（人）	5	-8	43	-9
傷者数（人）	776	126	4,772	290

[過去10年、6月中及び年間死者の推移]

区分\年別	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	過去平均		R4年
											10か年	5か年	
6月中死者	16	18	15	16	10	17	6	11	10	13	13	11	5
6月末死者	82	66	76	76	62	58	62	53	54	52	64	56	43
年間死者	200	184	169	177	158	148	141	152	144	120	159	141	—

都道府県別（6月中）

順位	1	2	3	4	5	12他3県
都道府県名	大阪	兵庫	神奈川	愛知	広島	北海道
死者数	16	14	13	11	10	5

都道府県別（6月末）

順位	1	2	3	4		8
都道府県名	大阪	愛知	神奈川	兵庫	東京	千葉
死者数	70	69	58	57		43

2 交通死亡事故の発生状況

(1) 6月中の死亡事故(死者5人)

- 事故類型別：人対車両、車両単独が各々2人(40.0%)
- 道路別：国道、市町村道が各々2人(40.0%)
- 地形・道路形状別：市街地交差点、市街地直線が各々2人(40.0%)
- 発生時間別：14～16時が2人(40.0%)、4～6時、6～8時、10～12時が各々1人(20.0%)
- 第一当事者年齢別(原付以上)：高齢運転者の死者が3人(60.0%)
- 第一当事者違反別(原付以上)：歩行者妨害、操作不適、前方不注意が各々1人(20.0%)
- 死者年齢別：高齢者の死者が4人(80.0%)、30歳代の死者が1人(20.0%)

(2) 6月末の死亡事故(死者43人)

- 事故類型別：
 - ・ 車両単独が14人32.6%（うち最高速度が5人35.7%、操作不適が4人(28.6%)）
 - ・ 人対車両が12人27.9%（うち前方不注意が4人33.3%、歩行者妨害、安全運転その他が各々3人25.0%）
- 道路別：
 - ・ 国道が19人44.2%（うち正面衝突7人36.8%）
 - ・ 市町村道が12人27.9%（うち人対車両が7人58.3%）
- 地形・道路形状別：
 - ・ 非市街地直線が12人27.9%（うち車両単独が6人50.0%）
 - ・ 市街地直線が11人25.6%（うち人対車両が5人45.5%）
- 発生時間別：
 - ・ 8～10時が8人18.6%（うち車両単独が4人50.0%）
 - ・ 10～12時が8人18.6%（うち正面衝突が4人50.0%）
 - ・ 14～16時が8人18.6%（うち車両単独が5人62.5%）
- 第一当事者年齢別(原付以上)：
 - ・ 高齢運転者による死者が18人41.9%（うち人対車両が5人29.4%）
 - ・ 40歳代運転者による死者が8人18.6%（うち車両単独が4人50.0%）
- 第一当事者違反別(原付以上)：
 - ・ 前方不注意が12人27.9%（うち人対車両、正面衝突、車両単独が各々4人28.6%）
 - ・ 操作不適が8人18.6%（うち正面衝突、車両単独が各々4人50.0%）
- 死者年齢別：
 - ・ 高齢者の死者が24人55.8%（うち人対車両が9人37.5%）
 - ・ 40歳代の死者が9人20.9%（うち車両単独が4人44.4%）
- シートベルト着用者：
 - 自動車乗車中の死者21人中、シートベルト非着用者は6人(28.6%)であり、このうち4人(運転席に乗車)はシートベルトを装着していれば助かった可能性が高い。

(3) 方面別発生状況

6月中の死者数は札幌方面が4人(80.0%)、釧路方面が1人(20.0%)となっている。
 6月末の死者数は札幌方面が25人(58.1%)、旭川方面が9人(20.9%)、釧路方面が5人(11.6%)、函館方面が3人(7.0%)、北見方面が1人(2.3%)、となっている。

方面別\区分	発生件数	死者数		傷者数		
		前年比	前年比	前年比	前年比	
6月中	661	75	5	-8	776	126
全道	661	75	5	-8	776	126
札幌方面	492	47	4	-3	571	81
函館方面	56	20		-3	62	21
旭川方面	59	20		-2	81	38
釧路方面	41	-7	1		47	-10
北見方面	13	-5			15	-4
6月末	4,063	205	43	-9	4,772	290
全道	4,063	205	43	-9	4,772	290
札幌方面	3,032	255	25		3,532	316
函館方面	296	20	3	-6	357	30
旭川方面	327	-30	9	3	411	-19
釧路方面	297	-50	5	-4	333	-57
北見方面	111	10	1	-2	139	20

(4) 月別発生状況の推移

6月中の死者数は5人で過去5年平均11.4人を下回っている。
 6月末の死者数は43人で過去5年平均55.8人を下回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和4年	7	8	2	10	11	5							43
年間累計	7	15	17	27	38	43							
過去5年平均	8.6	7.2	9.2	7.4	12.0	11.4	15.0	15.0	14.4	14.0	14.2	12.6	141.0
累計平均	8.6	15.8	25.0	32.4	44.4	55.8	70.8	85.8	100.2	114.2	128.4	141.0	

(5) 都道府県別死者

6月中は大阪府が16人で最も多く、次いで兵庫県が14人、神奈川県が13人で北海道は5人で12番目となっている。
 6月末は大阪府が70人で最も多く、愛知県が69人、神奈川県が58人で北海道は8番目で43人となっている。

区分\都道府県	大阪	兵庫	神奈川	愛知	広島	東京	熊本	千葉	岐阜	福岡	全国
6月中死者数	16	14	13	11	10	8	7	6	6	6	191
ワースト順位	1	2	3	4	5	6	7	8	8	8	-
前年比	4	7	6	0	2	2	3	-3	3	-4	-11
増減率(%)	33.3	100.0	85.7	0.0	25.0	33.3	75.0	-33.3	100.0	-40.0	-5.4

区分\都道府県	大阪	愛知	神奈川	兵庫	東京	千葉	埼玉	北海道	岡山	茨城	全国
6月末死者数	70	69	58	57	57	57	52	43	36	33	1,158
ワースト順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-
前年比	-1	18	6	8	0	-2	-9	-9	10	0	-40
増減率(%)	-1.4	35.3	11.5	16.3	0.0	-3.4	-14.8	-17.3	38.5	0.0	-3.3

3 死亡事故の特徴

(1) 道路別

国道が19人(44.2%)で最も多く、次いで市町村道が12人(27.9%)となっている。

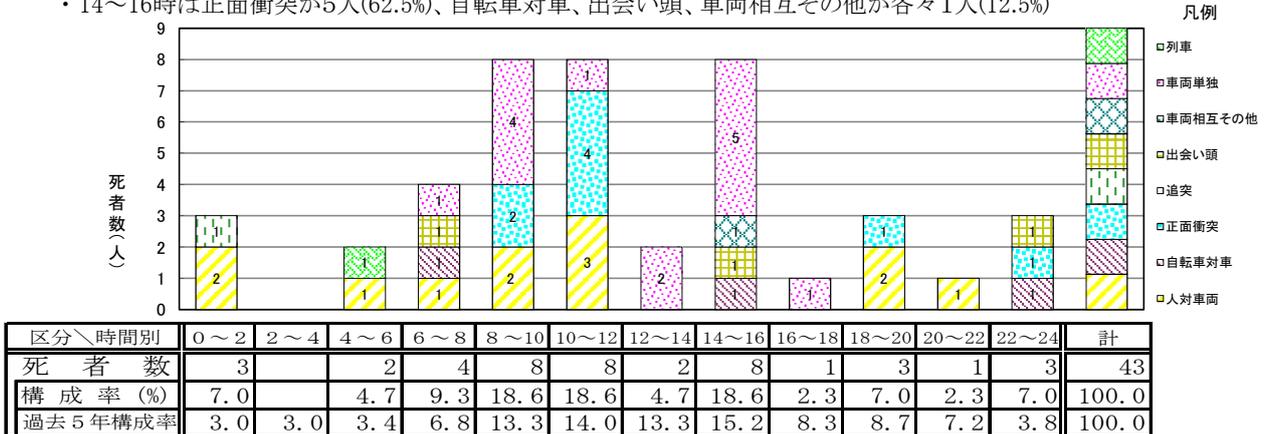
- ・ 国道は非市街地直線、非市街地カーブが各々5人(26.3%)
- ・ 市町村道は市街地交差点が5人(41.7%)となっている。



(2) 時間別

8～10時、10～12時、14時～16時が各々8人(18.6%)となっている。

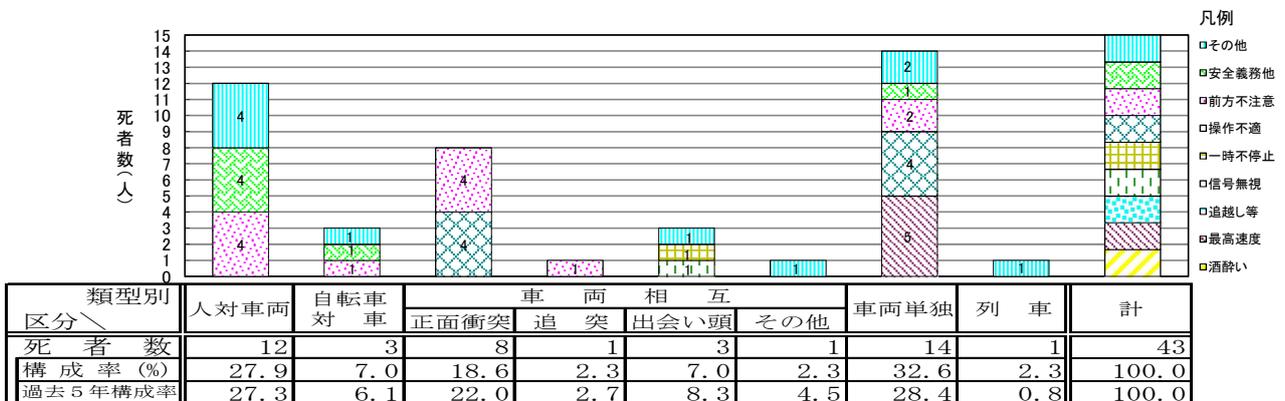
- ・ 8～10時は車両単独が4人(50.0%)、人対車両、正面衝突が各々2人(25.0%)
- ・ 10～12時は正面衝突が4人(50.0%)、人対車両が3人(37.5%)
- ・ 14～16時は正面衝突が5人(62.5%)、自転車対車、出会い頭、車両相互その他が各々1人(12.5%)



(3) 事故類型別

車両単独が14人(32.6%)、人対車両が12人(27.9%)となっている。

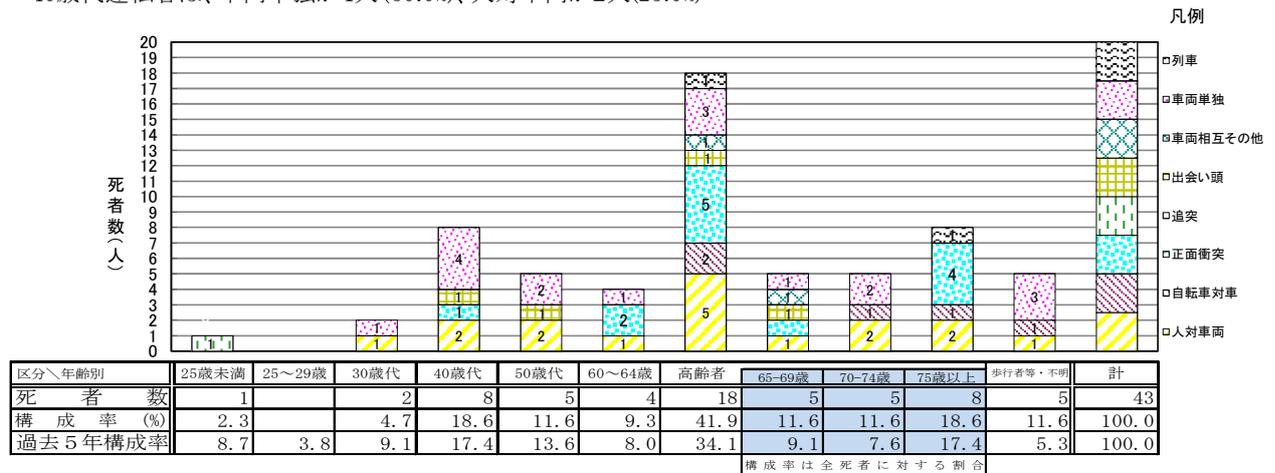
- ・ 車両単独は、最高速度が5人(35.7%)
- ・ 人対車両は、前方不注意が4人(33.3%)



(4) 第一当事者の年齢層別

高齢運転者によるものが18人(41.9%)、40歳代運転者が8人(18.6%)となっている。

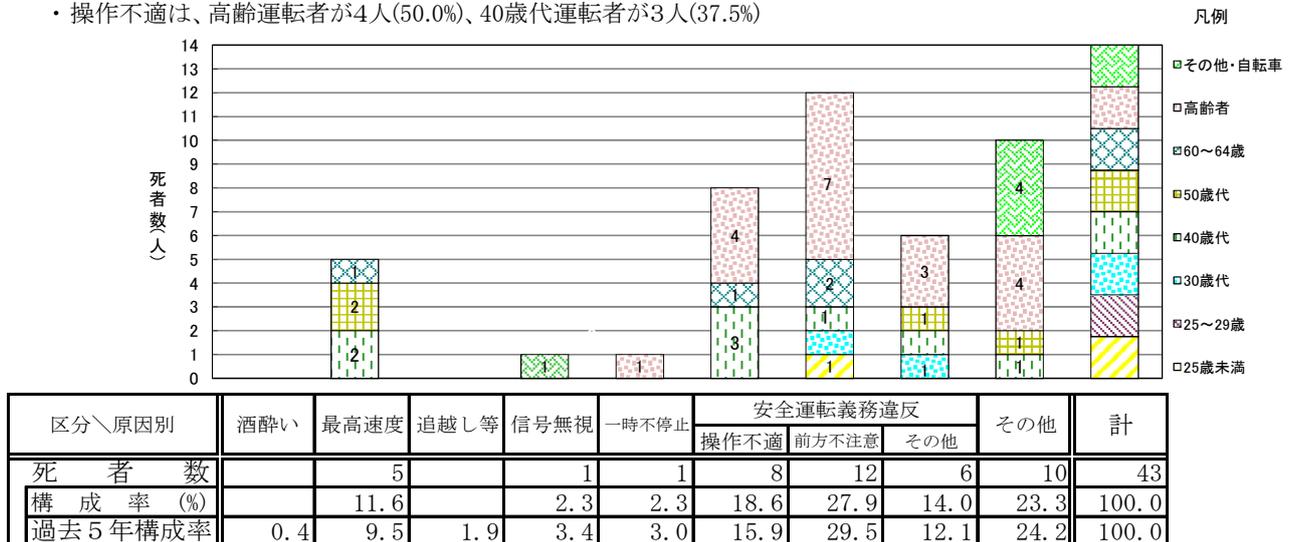
- ・ 高齢運転者は、正面衝突、人対車両が5人(27.8%)
- ・ 40歳代運転者は、車両単独が4人(50.0%)、人対車両が2人(25.0%)



(5) 第一当事者の違反(原因)別

前方不注意によるものが12人(27.9%)、操作不適が8人(18.6%)

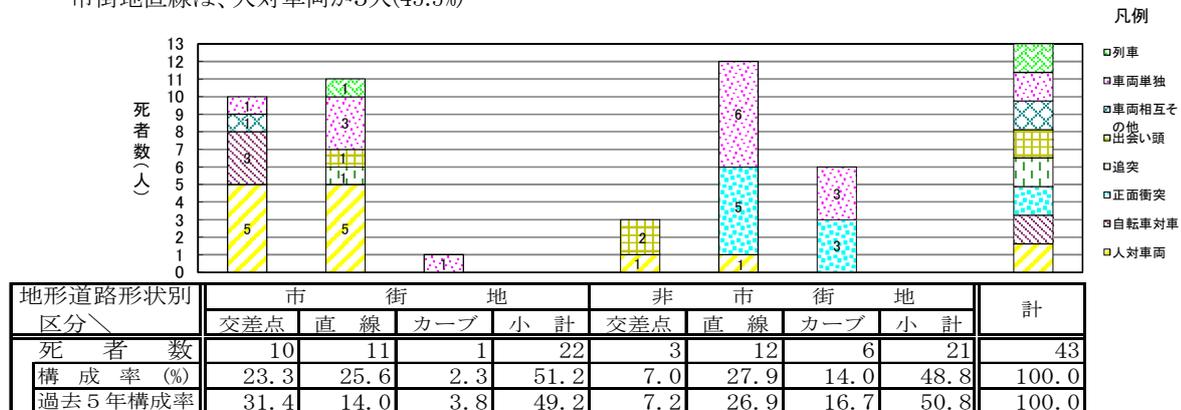
- ・ 前方不注意は、高齢運転者が7人(58.3%)
- ・ 操作不適は、高齢運転者が4人(50.0%)、40歳代運転者が3人(37.5%)



(6) 地形・道路形状別

非市街地直線が12人(27.9%)で、市街地直線が11人(25.6%)。

- ・ 非市街地直線は、車両単独が6人(50.0%)
- ・ 市街地直線は、人対車両が5人(45.5%)

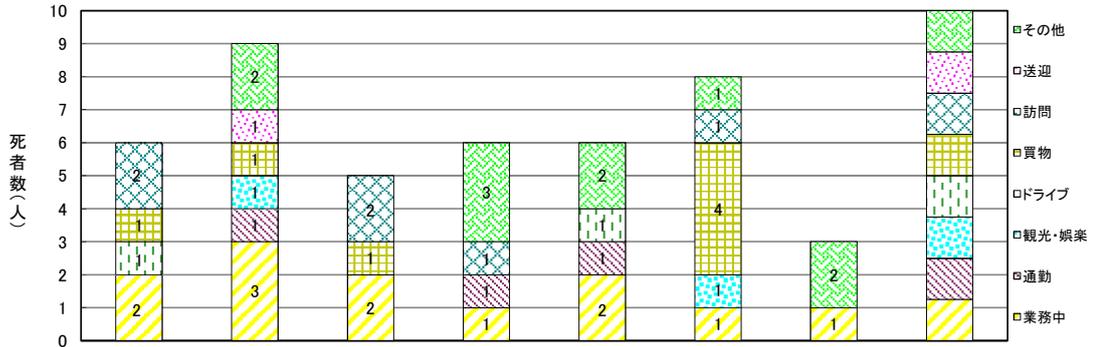


(7) 曜日別

月曜日が9人(20.9%)、金曜日が8人(18.6%)となっている。

- ・月曜日は業務中が3人(33.3%)
- ・金曜日は、買物が4人(50.0%)

凡例



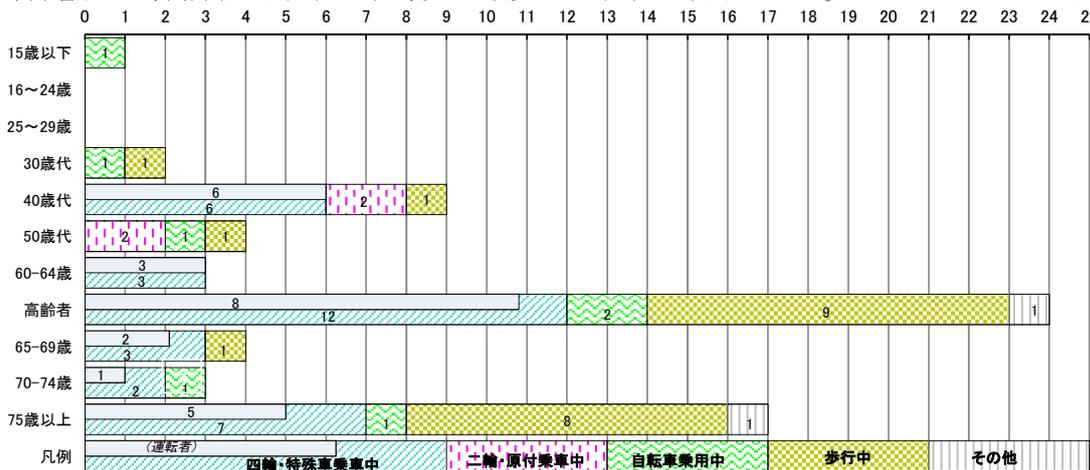
区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	6	9	5	6	6	8	3	43
構成率 (%)	14.0	20.9	11.6	14.0	14.0	18.6	7.0	100.0
過去5年構成率	14.0	11.0	14.8	14.0	14.4	18.9	12.9	100.0

(8) 状態別・年齢層別

四輪乗車中が21人(48.8%)で最も多く、歩行中が12人(27.9%)となっている。

- ・四輪乗車中は、高齢者が12人(57.1%)、40歳代が6人(28.6%)
- ・歩行中は高齢者が9人(75.0%)
- ・年齢層別では、高齢者が24人(55.8%)で、うち75歳以上が17人(70.8%)となっている。

死者数(人)



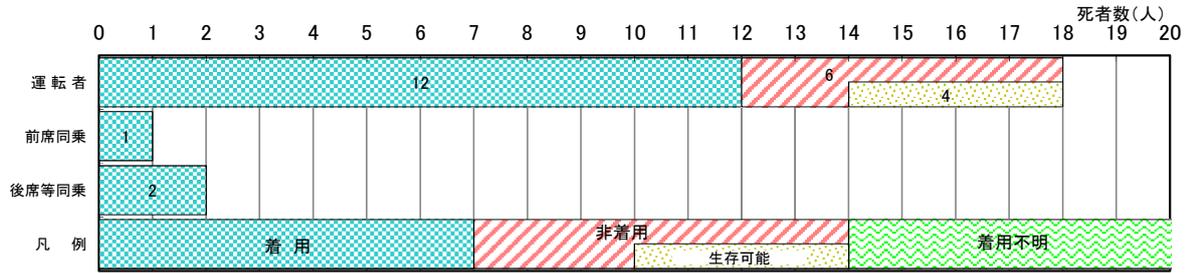
状態別 年齢層別\		四輪乗車中 (特殊車を含む)	二輪乗車中 (原付を含む)	自転車乗車中	歩行中	その他	計	構成率	5年構成率	
15歳以下	死者数				1		1	2.3	0.8	
16~24歳	死者数								6.1	
25~29歳	死者数								2.7	
30歳代	死者数				1	1	2	4.7	5.3	
40歳代	死者数	6	2			1	9	20.9	9.8	
50歳代	死者数		2	1	1		4	9.3	11.0	
60~64歳	死者数	3					3	7.0	6.4	
高齢者	死者数	12			2	9	1	24	55.8	58.0
65~69歳	死者数	3				1		4	9.3	11.0
70~74歳	死者数	2			1			3	7.0	10.2
75歳以上	死者数	7			1	8	1	17	39.5	36.7
計	死者数	21	4	5	12	1	43	100.0		
	構成率	48.8	9.3	11.6	27.9	2.3	100.0	—	—	
	過去5年構成率	54.2	10.2	6.8	28.0	0.8	100.0	—	—	

注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

自動車乗車中の死者21人中、シートベルト非着用者は6人(28.6%)となっている。
非着用者4人(運転席)は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。



区分	四輪乗車中等	着用			非着用			着用不明	
		計	運転者	同乗者 助手席 後部席	計	運転者 生存可	同乗者(助手席) 生存可		同乗者(後部席) 生存可
令和4年	21	15	12	1	2	6	6	4	
構成率(%)	100.0	71.4	80.0	6.7	13.3	28.6	100.0	66.7	

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、40歳代が4人(66.7%)、60～64歳、高齢者が各々1人(16.7%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	その他・不明	計
ヘルメット着用				2		2	11	3	2	6		15
構成率(%)				13.3		13.3	73.3	20.0	13.3	40.0		100.0
ヘルメット非着用				4		1	1			1		6
構成率(%)				66.7		16.7	16.7			16.7		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者6人の人身損傷加害部位をみると、車外放出が2人、車外他、ハンドル、座席、その他が各々1人となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	フロントガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	車内他	その他	計
ヘルメット着用	1		3					2	2	5		13
構成率(%)	7.7		23.1					15.4	15.4	38.5		100.0
ヘルメット非着用	2	1	1						1		1	6
構成率(%)	33.3	16.7	16.7						16.7		16.7	100.0
運転者	2	1	1						1		1	6
構成率(%)	33.3	16.7	16.7						16.7		16.7	100.0
同乗者												
構成率(%)												

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。